

科目名 (Eng)		国語 (Japanese)							
担当教員		機：蛭田 徹 電：高橋 宏宣 物・建：高野 克宏							
対象学年等		学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
		一般科目 (工学系4科)	1	通年	必修	3	90	一般	A
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(A-1)。(A-3)。 修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：1)								
授業の概要と方針		近代・現代の文章、古文、漢文を読み、文章の内容を正しく読み取る力を養う。							
到達目標		①現代文においては、筆者の言おうとしていることを理解できるようにする。 ②古文・漢文においては、基本的な語彙や正確な文法の知識を身につけ、作品の大意を把握できるようにする。							
授業計画									
前期	週	授業項目		理解すべき内容				事前学習	
	1	現代文：「祝福」のことば		高専国語への導入と基礎力の確認				文章を読んで、わからない言葉があれば辞書で調べておく。	
	2	現代文：水の東西		基本的語彙・表現の確認と内容把握					
	3	古文：「田舎の児、桜の…」		歴史的仮名遣いと古文の基礎					
	4	古文：後の千金のこと		歴史的仮名遣いと古文の基礎					
	5	現代文：羅生門		作者と作品の背景・基本的な語彙と表現の確認					
	6	現代文：羅生門		物語の展開の把握・表現と構成の特徴				漢和辞典がひけるようにしておく。	
	7	現代文：羅生門		登場人物の心理・主人公の自意識の理解					
	8	漢文：五十歩百歩		漢文訓読の基礎					
	9	漢文：借虎威		物語の読解・故事成語					
	10	漢文：蛇足		物語の読解・故事成語					
	11	現代文：命は誰のものなのか		文章構成の把握と文章内容の把握				文章を読んで、わからない言葉があれば辞書で調べておく。	
	12	現代文：地球の有限性と人間		基本的語彙と表現の確認					
	13	現代文：地球の有限性と人間		文章構成の把握と文章内容の把握					
	14	現代文：地球の有限性と人間		地球環境問題の調査と理解					
15	現代文：レモン哀歌他		詩の言葉・視点の理解						
後期	16	古文：公世の二位のせうとに		筆者と作品の背景・基本的語彙				重要な古文単語を調べておく。	
	17	古文：ある者、子を法師に…		基本的語彙・係り結び・内容理解					
	18	古文：花は盛りに		用言の活用・基本的文法事項・内容の把握					
	19	古文：花は盛りに		用言の活用・基本的文法事項・内容の把握					
	20	現代文：富嶽百景		作者と作品の背景・基本的な語彙と表現の確認					
	21	現代文：富嶽百景		物語の展開の把握・表現と構成の特徴				文章を読んでおく。	
	22	漢文：漢詩・春曉他		唐詩の基礎					
	23	漢文：漢詩・春曉他		漢詩の鑑賞					
	24	漢文：登岳陽楼他		漢詩の鑑賞					
	25	現代文：ものごと		基本的語彙の確認・全体の構成の把握					
	26	現代文：ものごと		内容の把握・段落間の関連の理解				文章を読んで、わからない言葉があれば辞書で調べておく。	
	27	現代文：ものごと		言語による対象の区切り方・全体の要約					
	28	古文：芥川		作品と背景・基本的語彙・助動詞の意味と用法					
	29	古文：東下り		基本的語彙・助動詞の意味と用法					
	30	古文：東下り		和歌の修辞技法・内容把握					
試験について		中間試験は共通科目試験日に50分の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。							
評価方法		定期試験の成績を70%、小テスト・課題・平素の成績等を30%として評価する。							
教科書		『国語総合』三省堂、樺島忠夫（編）『常用漢字の級別学習コンプリート』（京都書房）							
参考書		国語辞典・古語辞典・漢和辞典（各自用意すること）							
関連科目									
履修上の注意		授業には必ず予習をして臨むこと。不明な語句がある場合は、自ら国語辞典・古語辞典・漢和辞典を引いて調べる習慣を身につけること。							